

令和4年度 永瀬清子展示室企画展 年間展示案内

2022.4-2023.3

永瀬清子賞の歩み

6月3日(金)～7月31日(日)



永瀬清子賞は、平成14年度に永瀬清子の里づくり事業のひとつとして創設された詩の賞で、岡山県内の小中学生を対象としています。受賞者の中には、この賞がきっかけで文学部に進学し永瀬清子をテーマに卒業論文を書いた人、小学校教員となり児童の書いた詩を応募してくれる人などがあります。また、入賞作品は、朗読による披露、プロの作曲家が作曲し声楽家により演奏されるなど、多彩な場面で活用されています。この展示では、今年20回を迎える永瀬清子賞のこれまでの歩みを紹介します。

詩誌『黄薔薇』創刊70年

——永瀬清子の創刊から

現在まで

9月2日(金)～11月20日(日)



永瀬清子は、昭和27(1952)年8月に女性6人で詩誌『黄薔薇』を創刊しました。その後、現在の岡山県詩人協会が生まれた時には初代会長となり、ともに岡山の詩の歴史を作り上げていきました。詩誌『黄薔薇』は、後に続く同人たちにより現在も発行が続いています。この展示では、詩誌『黄薔薇』70年の軌跡を紹介します。

関連行事 9月開催予定

この展示の関連行事を開催します。詳細は『広報あかいわ』、赤磐市ホームページ内にある永瀬清子展示室のページ等でお知らせします。

萩原朔太郎大全2022

詩人の系譜

——萩原朔太郎から

永瀬清子へ

2023年

12月9日(金)～3月26日(日)

永瀬清子は、佐藤惣之助に詩の添削を受けて以来、陰に日向に支えられながら詩の道を歩み始め、惣之助の友人・萩原朔太郎の言葉に励まされていました。相次ぐ二人の死に臨んでは、追悼詩を書いてその詩を悼み、戦後は、前橋市での萩原朔太郎の顕彰に協力しました。この展示は、萩原朔太郎大全2022に参加し、永瀬清子の萩原朔太郎をめぐる詩人の系譜を紹介します。



永瀬清子
明治39(1906)～平成7(1995)年

永瀬清子展示室 (赤磐市くまやまふれあいセンター2階 岡山県赤磐市松木 621-1)

開室	午前9時～午後5時
休業	毎週月曜日 年末年始(12月28日～1月4日)
入室料	無料
交通機関	JR山陽本線熊山駅から徒歩約20分 山陽自動車道山陽または和気インターから車で15分
駐車場	赤磐市くまやまふれあいセンター東側 約40台
問い合わせ	赤磐市教育委員会熊山分室(赤磐市立熊山公民館内) 〒709-0705 岡山県赤磐市松木 623 Tel 086-995-1360

※赤磐市立中央図書館1階の歴史コーナーで、本展示の資料等の一部を複製し展示しています。

URL <https://www.city.akaiwa.lg.jp/annai/kyouikuiinkai/kumayama/tenjisitu/index.html>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期、内容変更となる場合があります。会場内ではマスクの着用や手指の消毒等、感染予防策にご協力をお願いいたします。発熱等の症状がある場合や、ご体調がすぐれない場合は、ご来室をお控えください。



永瀬清子展示室

検索